



# 松韻会会報

vol.7

発行:松韻会事務局  
〒989-3128  
宮城県仙台市青葉区愛子  
中央4丁目16-1  
FAX: 022-391-6144  
E-mail: jimukyoku-h  
@snct-dosokai.jp  
印刷: (株)アクトジャパン

## 平成26年度松韻会総会報告

松韻会副会長 遠藤好朗 (電波通信学科4期)

6月21日(土)に仙台ガーデンパレスにて、仙台高専同窓会総会に続きまして、松韻会総会が、内田校長、根本事務部長以下ご来賓、同窓会員ご出席のうえ開催されました。



議長選出が行われ、本科16期の赤井澤さんが選出されました。議長主導のもと議事進行がなされ、平成25年度事業報告、決算報告及び監査報告が本部・関東支部・北海道支部から報告され、承認されました。

部長からは、宅間電波・熊本電波との電波3校支部の交流が盛んであることと、また、秋朋会の東京支部大会へ参加すること、北海道支部(根本支部長からは、毎年発行している支部便りが、会員から大変好評であること、また、函館で支部総会を開催予定であること)などが、報告されました。

## 松韻会会長挨拶

朝夕めっきり寒くなり日に日に冬の訪れを感じる季節となりましたが皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。この会報が届く頃は初雪の便りが各地に届く頃になるかと思えます。



松韻会会長 大江章 (電波通信学科3期)

また、総会にてご報告致しました「同窓会館積立金の使途」については、厚生会館の改修に伴う同窓会館としての使用について前年度より運用ルール等、その使い道について役員会で検討して参りました。その結果、別紙にてご案内の通り臨時総会を開催し、事前資料での説明とともに会員の総意をもって協力の可否を決定したいと思っております。

高専祭は今年11月にずれ込んだこともあり当紙面では紹介できるかどうか微妙な状況ですが、併設されたホ-

仙台高専も高度化再編され、スーパ-高専になって今期が完成年度、来年4月からは仙台高専の卒業生が社会

検討したいという経緯説明がなされました。質疑としては、同窓会の今後の使用形態の担保の心配、ネーミングライツの可能性、会員の納得いく形での進め方への要望、臨時総会の開催などについて大いに盛り上がり、最後に議長より、会館設置について



平成26年度 仙台高専同窓会総会

## 「本校の取り組み」次世代型教育について

次世代の教育の在り方について、今盛んに議論され、世界中で改革が進められています。かつて、選ばれたエリート

今後とも同窓会活動により一層のご協力とご理解を賜りたく重ねてお願ひ申し上げます。

## 東北支部だより

東北支部長 三方雅仁 (電子工学科3期)

皆さん、こんにちは。平成26年度も上半期があつと言つ間に過ぎ、12月発行に向けた松韻会会報の時期になってまいりました。東北支部の事業も半期の折り返しとなりますので、ここまでの事業報告をいたします。

去る6月21日に行われました松韻会総会に合わせ東北支部総会を行い、無事議事を終了しました。支部会員各位のご協力に感謝いたします。

## 校長 内田龍男



力の優劣と対応していません。非エリートといわれる学生も、実は高い能力を有しながら、柔軟な理解が不得手で一つ一つのプロセスを完全に納得しなければ次に進めない、あるいは多面的に理解しようとするために安易には前に進めないだけのことも少なくないと思えます。

この考えを、一人一人に適した速度退とのこと残念です。

支部間連携に戻り、10月25日北海道支部懇親会に出席しました。支部役員を同行したかったのですが今回は各位の調整がつかず、東北支部からは私1名の参加でした。山内閣東支部長、根本北北海道支部長と共に支部間連携の強化を進めています。例年、関東、北海道の両支部の懇親会が開催されていまして、東北支部会員の皆さんも機会を設けて出席してみたいかがでしょうか。今後も会員各位のご協力をお願いいたします。



と方法で教育できれば、従来の講義と比較にならない効果が期待されることが容易に想像できます。言い換えれば、多様な学生に対して、興味や意欲を如何にして引き出し、自ら学ぶ意欲をもたせるかが重要で、最近、これについて多方向の研究が進められ、アクティブラーニング、反転教育、ICT教育などの名で情報が公開され始めています。

このような背景で、本校は高専機構からアクティブラーニングのモデル校に指定され、今後の高専教育の在り方を模索することになりました。失敗や困難を恐れず、高専にとって真の教育とは何かを求め、学生にとっても教師にとっても最大限の効果と効率が生まれる新たな教育手法を構築していければ幸いです。

ホームぺージ充実委員会の活動状況(その4)について報告します。

## 関東支部だより

関東支部長 山内克也 (電波通信学科5期)

師走の頃、会員の皆様におかれましてはお変わりありませんでしょうか。松韻会関東支部では、6月29日(日)の関東支部懇親会を無事に開催することができてほっとしているところです。会員の皆様をはじめとして、本部役員、東北支部並びに北海道支部の皆様のご支援に、本紙面をお借りして感謝申し上げます。関東支部懇親会の開催状況等は同窓会松韻会ホームページに掲載しておりますのでこちらをご参照ください。今回は、関東支部の活動状況について紹介させていただきます。

◆活動内容  
① 関東支部懇親会の企画運営(6月開催)  
② 電波兄弟校の同窓会との交流(支部幹事の相互参列)  
● 詫間電波(支部幹事)・11月開催 ● 熊本電波(熊本電波同窓会東京支部)・2月開催 ● 秋朋会(東京支部)・11月開催

◆関東支部幹事会の運営  
① 関東支部懇親会の会員へのご案内方法 ● 会報での案内 ● 電子メールのご案内 ● 支部幹事からの電話での案内  
② 支部幹事会の運営 ● 支部幹事総勢20名(内男性18名、女性2名)  
● メールネットワークによる情報共有  
● インターネット(調整くん)活用による会議日程の調整

切り返えはできたものの、最新情報(記事)を速やかにアップできず、まだまだご不便をおかけしています。さて、委員会では先の総会で承認を頂きホームページのメンテナンス専用パソコンを導入しました。これにより、益々利用しやすく、記事も随時アップできるように改善を図ってまいりますので、みなさんからのご意見、提案をよろしくお願ひ致します。

また、毎回ご案内していますが、会員の皆さまからの広告を募集していますので事務局まで気軽に問い合わせて願ひします。  
松韻会ホームページ  
<http://snct-dosokai.jp/>

# 50年振りの再会だ!!

本科14期同期会

櫻井勇一



6月8日、秋保温泉のホテルニュー水戸屋でのごと。  
「やあー、久しぶりー!」「えーっと、誰だったっけ?」 出逢いで的情景。前回

## 情報工学科13期 クラス会報告

宮澤陽子 (旧姓 宮本)

(情報工学科13期)

8月16日(土)・17日(日)と、秋保温泉のホテル佐勤にて、卒業20周年を記念して「情報工学科13期クラス会」を開催しました。

北海道・東北・関東の各地から15名(十ジュニア1名)が集結し、3年生の担任だった竹茂先生、専門科目でお世話になった技術職員の太田さんにも参加頂き、総勢18名と思いきや、4・5年生の担任だった佐藤公男先生が温かいメッセージを寄せて下さり、気持ち19名での開催となりました。

卒業してから20年、お互いに色々な経験を重ね、社会人としての立場も生活環境も様々でしたが、仙台電波高専の中で共有した時間は何年経つ



二次会は更に盛り上がったことは言うまでもありません。今回は、高専2年生の時に埋めた(はずの)タイムカプセルを掘り出す時に再会すること約束し、別れを惜しみつつそれぞれ帰宅の途につきました。

の同期会から12年、本科卒業から何と50年が経つての本科14期の同期会での一場面です。

私達の卒業は1964年(昭和39年)3月、東京オリンピックの年でした。卒業生79名は希望に溢れて、それぞれに違う場所、異なる職場で一つの時代を担って、活躍してきたつわもの達です。今は古希に手が届き、まだ、現役の方も居ますが、大半が平穏な日々を送る69歳のオヤジとなつて、集つたのは総勢26名でした。

卒業以来、初参加者も溜まり部屋では、それぞれが打ち解けて、半世紀前にタイムスリップしたような親密振りでした。八木山越路の電波高校で、短くも多感な青春時代に交友を深め、共に学んだ仲間の「絆の強さ」かな...

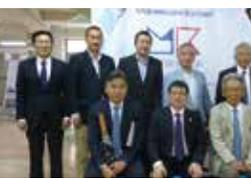
宴会は、初めに、11名の逝去された方への献杯を行った後、庄子勝義さんの軽妙な司会で和やかに進行。全員のシヨウトトトークでは、それぞれに昔・今・これから個性豊かな話で紹介されて、仲間たちが歩んだ人生の一端が見えた思いでした。

があちこちにでき、小演技ありの大盛明を飛ばし続け、会場いっぱいになり、みんなの満身の笑顔が溢れていました。一次会の締めは、石綿応援団長のエールで校歌、応援歌、トンツォー節、無線放浪歌のメドレーでした。無線放浪歌では、感激のあまり大泣きするSさん。本当に良き仲間たちの集まりでした。二次会は再び、溜まり部屋で宴会の余韻を残しつつ続行。お聞き言いは、深夜2時近くでした。(小山忍さんが宴会の模様をDVD作成して配布。大好評です)

翌日、9日は次の同期会に全員健康で、元気に再会することを約束して解散。一部の有志は愛子の高専訪問班と東日本大震災の被災地訪問班に分かれて行動です。高専では、薫科先生の案内で、新レジャー装置の映像、システムの概要説明をしていただき、本年1月22日に開局したばかりの仙台高専エリア放送システム(板橋さんの報告)。

## モンゴル国教育科学大臣 訪問

柴崎 八郎 (本科14期)



本年6月、所用で、高専7期の小泉さんと、モンゴル国を訪れた際、現地の友人の尽力でモンゴル国教育科学大臣のロブサンニヤム・ガントゥムルさんを訪問することが出来ました。大臣は、平成5年から3年間、モンゴルからの初回国費留学生として仙台電波高専に留学され、一昨年にモンゴル国教育科学大臣に就任され、昨年4月には、仙台高専からHonorary Professorの称号が与えられました。

6月29日に松韻会関東支部同窓会が開かれることをお伝えしたところ、大臣からビデオレターでメッセージを寄せて頂き、懇親会で皆様に披露させて頂きました。大臣は、モンゴル国の教育改革に取り組まれており、本年夏に、日本式の高専制度の導入が国会で承認され、正式に高専制度がスタートしま

した。大臣の勤めもあり、2日後に同校も訪問し、これからモンゴル国の高専で取り組む課題などに意見交換をしてきました。この学校では日本の高専と同じように産学共同の研究センターも併設され、モンゴルという環境の中で、身近に必要となっている課題の技術開発を進めて行きたいということでした。

もっとも印象的だったのは、遊牧民が飼育している牛からは大量の牛乳が搾乳されるが、牛乳のままでは輸送手段が難しくコストが高くなり商品化できないので、各遊牧民が牛乳を粉末化し簡単に運べるようにして、集めた牛乳の粉末を乳製品にする取組を研究しているとのことでした。これには、遊牧民が搾乳した牛乳を粉末化する簡易な設備を開発することが必要とのことでした。同校には都立高専教授を務められた2人の先生が現地に出席して指導に当たっており、本の高専の皆様の協力を頂きたいとのことでした。



テム(UHF33c)の見学、丁寧な説明を受けました。高専訪問後は、青葉城址、旧電波校跡地、現向山高校を見て、県庁、市役所などを経由して仙台駅で解散しました。被災地訪問班は、関上中学校、港と日和山を視察、雨の中で行われていたボランティア10人ほどによる側溝遺物探索を見た後に「さいかい市場」での買い物をして、荒浜小学校と海岸を訪問しました。(竹中さんの報告)。また、仙台高専へ荒浜へ関上訪問コースでは、関上朝市内のカナダ支援建設内ホールで昼食。改めて震災の凄まじさを認識するとともに復興の遅れを感じました(板橋さんの報告)。

## 『五期会だより』 五期会事務局 千葉定一 (本科5期)

- 一、在仙関係
  - ① 第一回コンペ 3月8日 表蔵王国際GC
  - 今年からアンダーハンディー戦。残念ながら季節外れの降雨のため9ホールで打ち切り。水戸君が優勝。2位、吉田3位、富二夫。
  - ② 新年会 3月19日 遠刈田さん亭 13名(関東から門真、水戸、村上参加)
  - ③ 恒例の観桜会 4月19日 9名参加
  - 記念植樹以来12回目での初の開観桜会。敏和の手料理もなかなかのものでした。来年もたのむよ!
  - ④ 第二回コンペ 5月7日 マグノリアGC 7名参加
  - 優勝 佐藤富二夫(昨年も当GCで優勝だった)
  - ⑤ 故高橋清吾君の葬儀 長町ベルコシテイで教会葬 葬儀参列者4名(中野初、紀義、松尾)
  - ⑥ 第三回コンペ 8月7日 表蔵王国際GC 8名参加
  - 優勝 千葉定一(初ちゃんと同NET。年齢順)
  - ⑦ 暑気払い 8月7日 小原かつらや 14名(関東から門真、村上、只埜、水戸)
  - 祝宴・乾杯のあと平成26年の予定の報告と近況報告(一分間スピーチ)。乾杯に生ビールを出したので、生だけ飲む不心得者がおり、めずらしく赤字決算!
  - ⑧ 今後の予定
    - ・忘年コンペ 12月18日 表蔵王国際GC
    - ・忘年会 12月18日 宮城蔵王ロイヤルホテル
    - ・新年杯コンペ&新年会 平成27年3月上旬 表蔵王国際GC&秋保温泉
- 二、関東以西会
  - 10月20日 熱海温泉ホテル弥生 9名参加(在仙者の出席なし!)
  - ※返事無し6名もおる! 体調不調が目立つ。



## 北海道支部だより

北海道支部長 根本孝一 (専攻科17期)

みなさんお変わりございませんか。今回は10月25日(土)に開催した「北海道支部函館懇親会」の様をお知らせいたします。ゆっくり語り合えるようにと函館市湯の川温泉にて「宿泊付宴会」を計画したところ、中江校舎で学んだ大先輩や八木山校舎の本科・専攻科生、愛子校舎の高専卒の皆さんが集い、世代を超えた同窓会「函館懇親会」となりました。記念撮影、自己紹介、本部の奥村事務局長による最近の仙台高専の紹介等が続いて、山内関東支部長の乾杯で始まり、ビデオレターも飛び出す家族的な雰囲気の中、大変楽しく交友を深めることができ、いつの間にか時間も大幅に延長してしまいました。締めは三方東北支部長音頭の「無線放浪歌」です。全員が輪になり肩組みあつてホテル中に響く大合唱のあとエールを切ってお開きとなりました。二次会は更に盛り上がり、武勇伝あり、波瀾万丈編あり、それぞれ歩んできた人生に笑いあり、喜びあり、苦悩あり、語るも涙、聴くも涙で、秋の夜長は一層深まりました。翌朝、再会を約して無事帰路につき

# 始動！ 仙台高専 サッカー クラブ

知能エレクトロニクス工学科5年  
佐々木 俊 樹

仙台高専第一期生としての東北地区高専大会優勝、また5年間で計2度全国高専大会に出場できたことは私にとっての一生忘れられない素晴らしい経験となりました。仙台高専に統合されたことにより、部員数の減少がはつきりと表れ、満足する練習ができない日々も続きました。しかし辛いことがあっても、辞めずに続けることができたのは一緒に頑張ってくれた仲間達、支えてくれる先生方、保護者がいたからでした。



大会常連校として、今年度の仙台高専OBとして、その一人と目される。達成される日、思いを込めて見たいです。

## 2014 電気自動車エコラン競技大会参戦報告 —SEV-K'14 が 4 輪車部門で 3 位に!!—

8月23日、24日に宮城県村田町スポーツランド SUGO の国際レーシングコースで「2014 電気自動車エコラン競技大会 in SUGO」が開催され、本校広瀬キャンパスから5チーム、名取キャンパスから1チーム、合わせて6チームがエコラン競技に挑戦しました。

本校からの参加は、駆動・回生システム研究のための「SEV-K'14」、ならびに、本校で長年取り組んできた複数駆動輪を有する電気自動車の研究成果をさらに発展させて全車輪に自作インホイールモータを組み込んだ、エコラン史上初となる全車輪駆動の「SEV-U'14」をはじめとして、本校名取キャンパス自動車部チームの「(e)J・Pony」、さらに、2つの本校女子学生チーム、ルイージ・ガールズの「STDD-L」とビー・ガールズの「はちみつカート」、そして、菅谷研究室の学生らの「SKNK」、以上6チーム。これらに加え、電子制御工学科99年度卒の久保敬氏をリーダーとするOBチームの「Éclair」の合計7台が参加しました。

今年の競技大会は、天候にも恵まれ、自動車メーカーをはじめ、大学・高校チームまで合計43チームが集い、40チームが出走してレースが行われました。



このレースは、競技規定で指定されたバッテリー(公称270Wh)をエネルギー源として、1周約3.7km、70mの高低差、10%の長い上り坂を有するコースを2時間で何周回走行するかを競うレースです。競技成績は、「SEV-K'14」が周回数9で、四輪車部門(11台出走)で3位、ジュニアクラス16位、総合25位となったのが最上位でした。これに続いて、女子学生チームのルイージ・ガールズの「STDD-L」が周回数8で四輪車部門4位、ジュニアクラス17位、総合28位、同ビー・ガールズの「はちみつカート」が周回数7で四輪車部門5位、ジュニアクラス18位、総合29位でした。四輪車部門で優勝したマシンが、三輪車輪に補助輪を付けただけの車輪だったので、真の四輪車部門での順位は、それぞれ、2位、3位、4位を占めた事になります。その他のチームは以下のとおりです。

菅谷研チームの「SKNK」が周回数5で四輪車部門7位、ジュニアクラス21位、総合33位。名取キャンパス自動車部チーム「(e)J・Pony」が周回数5でジュニアクラス23位、総合35位。「SEV-U'14」は自作モータの不具合、OBチーム「Éclair」は回路トラブルで出走できず、順位なしでした。

本年も本校広瀬キャンパス後援会をはじめ、多くの方々から多大なご支援を戴きました。また、仙台高専同窓会松韻会東北支部からも多大なご支援をいただき、後輩たちのものづくり教育活動を励ましていただきました。お陰で本校広瀬キャンパスからはOBも含め全部で6チームが参加できました。一同、心から感謝申し上げますとともに、今後も多くの皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。(文責 大泉哲哉)

## 小林 哲 (電波通信学科1期) サッカー部OB会開催

東京オリンピックでアルゼンチンに勝ち、メキシコで銅メダルと機運が高まる中、目指せ釜本でサッカーを始めました。  
1年の秋に同好会が立ち上がり、故佐藤勉先生、石原晴雄氏の尽力により2年の春にサッカー部の発足しました。その後、仙台育英の福田コーイチの指導でいくらか形になりましたが、まだまだでした。それが、今では大学リーグで3位、高専大会も全国大会に出場するまでになりました。これも藁科先生の熱意の賜物でしょう。  
来年は私も選層を迎えます。益々のサッカー部の活躍を願って盛り上げる為、皆、5月4日に会いましょう。特に1期生の参加を待っています。  
開催日 平成27年5月4日(月)  
開催日 平成27年5月4日(月)  
10時集合 11時キックオフ  
場所 母校グラウンド  
☆昼食を用意します。  
☆家族連れでの参加大歓迎です。  
夜の部 19時から  
場所 仙台駅周辺  
☆1期生還暦祝いメインですが、26年度東北高専大会優勝祝い、OB会30回記念、27年卒OB40期生など区切りの良い年になりますので盛大に行いたいと思います。  
大勢の参加をお待ちしています。  
OB会に関する連絡先 OB会事務局 庄子  
sthoj453@gmail.com

## 国技館に「風」を吹かせた仙台広瀬

メカトロニクス教育推進室 室長 末永 貴 俊



去る10月26日、高専ロボコン東北地区大会が開催されました。今年のテーマは「出前迅速」で、積み上げた「そばの蒸籠」を、さまざまな障害物(スラローム・角材・15度の傾斜)をクリアしながら出前する競技です。広瀬Aは風の力で蒸籠を倒さずに出前するのが特徴のロボット、広瀬Bは滑らかなテーパー機構で蒸籠のバランスを取り、6本足で障害を走破するロボットで出場しました。両チームとも、地区大会では初戦敗退でしたが、広瀬Aがアイデア賞・出前迅速賞を受賞して全国大会に推薦されました。

11月23日に開催された全国大会でも、仙台広瀬の「そば」は「風」を使った蒸籠の出前を披露して会場を大いに沸かせました。惜しくも2回戦で敗退しましたが、試合では勝ち進めなかったものの、今大会唯一のアイデアが評価され「アイデア倒れ賞」を受賞しました。大会には在校生と保護者だけでなく、関東支部の皆様にも応援に駆けつけていただきました。皆様の多大なるご支援、ありがとうございました。皆様の多々なご支援、ありがとうございました。皆様の多々なご支援、ありがとうございました。皆様の多々なご支援、ありがとうございました。

## プログラミングコンテストに参加して

10月18・19日に、全国高等学校第25回プログラミングコンテスト(プロコン)の本選が開催されました。仙台高専広瀬キャンパスからは、6月に行われた競技部門・課題部門の予選を突破した2チームが本選に出場しました。競技部門は、バラバラに並び替えられた画像を復元するという競技内容で、復元の正確さや速さを競い合いました。1日目の試合を勝ち抜き、2日目の準決勝まで勝ち進みましたが、準決勝最終問題において惜しくも決勝進出を逃しました。課題部門は「防災・減災対策と復興支援」がテーマとなっており、各校から様々なアイデアを実現する作品が持ち寄られました。本キャンパスからは、被災時に親族や友人等の安否確認が困難だったという経験から、インターネットが使えない環境における情報交換を実現するシステムを出展し、敢闘賞を受賞しました。



## サイエンス・デイに参加して

7月20日、東北大学で開催されたサイエンス・デイに、理科教育推進室が出展した磁石の不思議。リニアモーターカーを作ってみよう!の講師として参加しました。  
事前準備では、子ども達が短時間で確実に製作できるように、シンプルな手法を開発するために後輩達と試作を繰り返しました。  
当日、ブースは毎回満員で、うまく作れたときの子ども達の笑顔を見たときには、とても嬉しく思いました。また本講座の、理解しやすく、誰でも楽しめる点が評価され、「JST復興促進センター賞」を頂きました。講座を開催するにあたり、同窓会様より資金援助をいただきましたことにこの場をお借りし深謝いたします。



通信欄だより

総会返信はがき通信欄を使用した通信欄だよりですが、今回もたくさんの方にご記入いただき、誠に有難うございました。いただいた近況短信のうち、紙面の都合上、一部ではあります掲載させていただきます。なお、達筆の方も多く、意図した内容と異なる場合もあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。これからもご投稿お待ちしております。

★本科9期 三浦 元雄

仙台では3年間「松韻会」にお世話になりました。前会報に「本科10期同期会を開催」の記事と写真があり、松韻会と同室であった「M田氏、T猪氏の懐かしい名前を発見！早速パソコンに写真を取り込み、超拡大して眺め、ウーン、なんとなく55年前の面影があるな、と納得。何だかわからないが嬉しくなり、1人でにやにや、「乾杯〜！」と相成りました。

★本科2期 藤岡 光之

一生の生活・生存の礎とならした「国立電波」は勿論忘れられる事は出来ず、何時も誇りとして生きて来ました。形は変わっても益々の発展を祈るのみです。

★本科12期 門脇 康郎

長年勤めました「東海テレビ放送」を10年前に退職しました。現役中取り組んでいた「名張毒ぶどう酒事件」ですが、その後も取材を続け、昨年、岩波書店から「死刑囚の半世紀」という題名で出版しました。関心がありましたらお読みいただければ幸いです。

★専攻科6期 田中 富夫

会報6号にて卒業生の就職・進学情報や学生の活動状況を見ました。また、同期会では本科5、10、22期生の元氣な活動に勇気づけられました。我々本科・専攻科6期同期会は本年喜寿会を以って一応散会となります。

★本科12期 南里 憲三(奥様)

主人は、くも膜下出血で倒れ、この6月12日で4年目に入ります。自宅療養しております。とてもよくなってきておりますので、皆様によりよくお伝えください。

★特科4期 朝里 昭治

今年7回目の年男です。血圧、血糖コレステ、体脂肪等すべてクリアーして、元気に過ごしています。

★本科22期 佐々木 勇

電波高専卒業生も最後となり、名実ともに一つの高専、同窓会としてステップアップしていく事、応援しております。

★旧職員 近江 みや

いつも松韻会報をつかしく見て居ります。元気ですけど何となく弱くなりました。9月で93歳。ぼけなさいです。

★電波通信学科9期 竹中 奈美

5月24日、初めて北海道支部の総会に参加しました。先輩方に優しく迎えていただき感謝しました。

★本科2期 越前 美廣

今年6月17日で81歳です。未だ健康で、同期生仲間と時々会合、近況を確かめながら一杯やっています。

★本科4期 安部 茂

目下アキレス腱切断のリハビリに力を入れていますが、中々上手にはならないものです。心は元気で。

★旧職員 渡辺 英夫

週に一度、近くの科学館へ行っって子供達の相手をして、まあ元気にすごしています。

★旧職員 伏見 清和

会報の「竹茂先生との交流会」懐かしく拝見しました。

★第2別科4期 小野 賢次

私共第1別科は、昭和29年4月の入学でしたので、今年は60周年となりました。月並みですが、青春を想起して思い出話が多く、楽しんでます。

★専攻科7期 菊地 征治

昭和32年卒、本科7期B組のクラス会を2年に1回開いています。楽しい思い出話が多く、楽しんでます。

★電子工学科1期 伊藤 克行

東日本大震災から3年が経過しました。私は石巻市の沿岸部に住んでいた両親を津波で失い、流された実家跡は非居住区域になりました。「移動支援」という、車の運転などが出来ない高齢

近況短信



久保真人 (電子工学科26期)

者などの通院や買い物物の足として送迎活動をするNPO法人と縁が出来て、年に数回、1週間ずつ程度ではあります。ポランティアに通っています。内陸部移転の宅地や復興住宅建設は本格化した被災地ですが、家の再建や入居は数年先という人も多く、「復興」などと気軽に口には出来ない現実が続きます。まだまだ「里帰り」は続きます。

★特科8期 雨宮 千里

86歳になりました。元気で頑張っています。皆様もお元気で。

★第1別科3期 菅原 隼雄

町内会社会福祉活動、総合型地域スポーツクラブ活動などのお手伝いをし、元気でやっています。

★第1別科1期 布田 平左衛門

傘寿になり健康にも問題なく日々過ごしています。

★第1別科1期 藤原 薫

中江校舎、寮を懐かしく想い出す、この頃です。

★本科22期 石川 善昭

平成26年3月31日まで銚子市の中学校長をしておりました。その後、4月1日付けで銚子市教育委員会教育長を仰せつかりました。千葉県銚子市は銚子無線局が以前あり、廃局後も銚子に残った方がおり、そういう方と昔の電波高時代を懐かしんでおります。元々の出身は仙台市内です。

高専を卒業して、早いもので7年が経過しました。高専在学中は、いろいろ諸事情があってクラスの人数が50人を超え広い教室を与えてもらったり、球技大会で3年生から5年生まで3連覇したりと懐かしい思い出がたくさんあります。高専を卒業した後は大学、大学院と進学して今は社会人として福島に住んでいます。高専を卒業した後もOB講演会に呼んで頂いたり、所属していた卓球部のコーチをさせて頂いたり、OB戦に参加したりと、高専との結びつきはざつと続いています。最近では2年に一度(希望ですが)くらのペースで海外旅行に行くことにしています。今のところアメリカ、カナダ、イギリス、フランスの4カ国に行きました。今後いろいろな国に行ってみることが最近の趣味になっています。

会費の他金融機関からの振り込みについて

会費をゆうちょ銀行以外から振り込みしたいというご意見をいただきましたので振込用口座番号をお知らせいたします。  
ゆうちょ銀行  
二二九(ニニキュウ)店  
当座 0014403  
口座名: 松韻会 (シヨウインカイ)  
年会費: 2千円

※振り込み手数料はご負担ください。

振り込み人名の前に科期別記号(会報宛名の右側に記載)を入れて下さい。もし、入れられなかった場合は、振り込んだ旨を事務局宛にメール jimukyoku-h@snct-dosokai.jp で必ずお知らせください。お知らせが無いと会員の特定が困難になります。 会計(高田)

職員

- 山田 竹實氏 科8期 佐々木 春男氏 科2期 瀬戸川 保氏 科2期 藤岡 光之氏 科3期 荒生 篤夫氏 科5期 高橋 清吾氏 科11期 佐藤 重範氏 科4期 福田 清氏 科4期 三浦 武夫氏 科6期 黒田 昭夫氏 科14期 鈴木 政次氏 科1期 田中 誠一氏 科1期 渡辺 徳一氏 科2期 渡辺 桂氏 科3期 齊藤 精一氏 科3期 西島 和昭氏 科9期 萱場 孝昭氏 科10期

編集後記

今年も早いもので師走を迎えました。同窓生の皆様におかれましては2014年ほどのような一年でしたでしょうか。『嬉しい』『辛』『楽しい』など様々な出来事があったかと思えます。ある心理学者が唱えるには「人間は楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ」とのこと。その提言通りであるならば、常に笑うコトを心掛けていけば、楽しいコトがもっともっと増えるかもしれません。2015年が皆様にとって笑いの多い、楽しい一年になりますように。最後に、本紙発行にあたりご執筆頂きました皆様方に、編集委員一同、心より感謝申し上げます。(齋藤清人)

Table with financial data for 平成25年度 松韻会決算書. Includes columns for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) with various sub-items and amounts.

Table with financial data for 平成26年度 松韻会予算書. Includes columns for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) with various sub-items and amounts.